

令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	Fantasia イラスト集出版記念 まさきたかこ展
日時	令和4年4月14日(木)~19日(火)
会場	ギャラリーそら(鳥取市)
実施者(団体)	まさきたかこイラスト集出版記念展実行委員会
補助金額	184千円

鳥取市在住のイラストレーターまさきたかこ氏が、画業20周年、二科会デザイン部会員推挙を機に制作したイラスト集『Fantasia』の出版を記念して開催された展覧会。イラスト集に掲載された作品から、80号(1455mm × 1120mm)のサイズの作品約20点が展示され、膨大な時間の積み重ねと、ひたむきな制作姿勢で追求した画業の全貌とともに、デジタルで制作された作品の細かいディテールを間近で実感できる展示となった。

会場で行ったアンケートでは、「絵本のようなタッチの色鮮やかなイラストが建物とマッチしていた」、「大きな作品で見応えがあった」、といった感想があった。

コロナ禍の中、大きな混雑はなかったが、コンスタントに鑑賞者が来場し、会期中に約380人の来場があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	鳥取 JAZZ×デトロイト・ジャズ・フェスティバル・コンサート「REUNION」
日時	令和4年 10 月 2 日(日) 午後 7 時開演
会場	とりぎん文化会館 小ホール
実施者(団体)	鳥取 JAZZ 実行委員会
補助金額	955 千円

鳥取 JAZZ は 2019 年から世界最大級のジャズ・フェスティバル「デトロイト・ジャズ・フェスティバル」との交流事業を行っており、コロナ禍の 2020 年、2021 年においても、演奏等の映像を双方のイベントで上映することにより、相互交流を継続してきた。そして、2022 年9月の「デトロイト・ジャズ・フェスティバル」では、鳥取 JAZZ のメンバーが渡米し、演奏やライブドローイングを披露した。

鳥取 JAZZ×デトロイト・ジャズ・フェスティバル・コンサート「REUNION」では、「デトロイト・ジャズ・フェスティバル」のメンバーをゲストとして迎え、鳥取 JAZZ のメンバーとで結成された「Tottori Detroit Reunion Band」が演奏を披露し、鉄筋彫刻家徳持耕一郎氏がライブドローイングを行った。また、前日に「デトロイト・ジャズ・フェスティバル」のメンバーによるワークショップを受けた大学生ビックバンドも出演した。

当日は約100人の来場があり、「初めてジャズのライブを聴いたが、迫力があり、感動した」、「本場のジャズが聴けてとても楽しかった」といった感想があった。

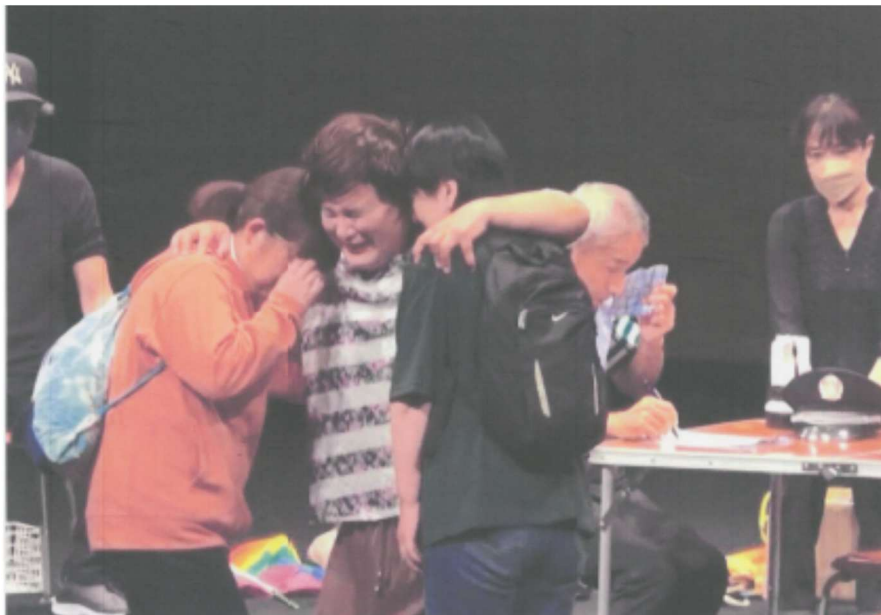


令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	演劇集団あり公演「パパがママになる日」
日時	令和4年 10月8日(土)午後6時半開演 9日(日)午後2時開演
会場	米子市文化ホール
実施者(団体)	演劇集団 あり
補助金額	134千円

本公演「パパがママになる日」は、「演劇集団あり」代表 添谷泰一氏作・演出によるオリジナル作品で、生物学的には男性として生まれてきた主人公が、心の性である女性に戻るために様々な困難に巡りあい、家族である息子2人の葛藤とそれを乗り越えていく家族の絆を描いた作品である。演出上の工夫として、観客を舞台の一部に取り込み、演者と一体となって劇空間を作り上げた。

2回の公演で約300人の来場があり、鑑賞者からは「性的マイノリティの問題を身近に感じることができた」、「子どもや大人など、より多くの人に見てもらいたい」といった感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	松原愛実ソプラノコンサート
日時	令和4年10月16日(日)午後2時開演
会場	米子市公会堂
実施者(団体)	松原愛実ソプラノコンサート実行委員会
補助金額	194千円

米子市出身で、県内でも演奏活動を行っているソプラノ歌手松原愛実氏によるソロコンサート。ピアノには同じく米子市出身の高木伶氏を迎え、イタリア歌曲、ドイツ歌曲など、華麗な世界の名曲や、心に残る美しい日本歌曲を演奏した。また、ソプラノ演奏の間にピアノソロ演奏も入れ、アクセントを加えた。

当日は、約400人の来場があり、鑑賞者からは、「素晴らしい歌声だった」、「コロナ禍で久しぶりのコンサートを楽しんだ」など、感動の声が多く寄せられた。また、「外国語の歌に字幕があり楽しめた」、「オペラを聴いたことがなかったが楽しい曲もあり親しみを持てた」といった感想もあり、クラシックに馴染みのない観客にも楽しんでいただける演奏会となった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	松本文仁個展 ～船を出すのなら…～
日時	令和4年10月20日(木)～10月25日(火)
会場	ギャラリーそら(鳥取市)
実施者(団体)	松本 文仁氏
補助金額	132千円

境港市在住の洋画家松本文仁氏が、2014年に鳥取県立博物館で開催された企画展「流体－松本文仁・森田しのぶ」以降に制作した作品を発表した個展で、金属・木片等、異素材のコラージュ(ミクストメディア)による、手のひらくらいの小品から、100号の大作まで、バリエーション豊かな立体・平面作品約50点を展示した。

6日間の会期に約200名の来場があり、鑑賞者からは、「鳥取でミクストメディアの作品を鑑賞できる機会が貴重な機会だった」、といった意見があった。また、会場には制作者が在廊し、特に実製作者からミクストメディアの手法についての質問を多く受け、制作活動についてのコミュニケーションの場ともなった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	低音の響き～癒しのコンサート～
日時	令和4年 10 月23 日(日)午後2時開演
会場	米子市文化ホール
実施者(団体)	クラシックプレゼンター山陰
補助金額	120 千円

弦楽器のヴィオラ、コントラバス、声楽のバス、メゾソプラノといった、あまり単独で演奏されることのない「低音」の楽器、パートに注目した、山陰で活動する演奏家によるコンサート。低音に着目した演奏会は珍しく、ゆったりとした時間の流れる演奏会となった。また、それぞれのソロ、アンサンブルともに、あまり耳にすることのない楽曲を選曲したこともあり、鑑賞者に分かりやすい解説を交えて進行した。

当日は約100名の来場があり、鑑賞者からは、「ヴィオラ・コントラバスの独奏は初めてで嬉しかった」、「楽曲の紹介やトークが分かりやすく、楽しかった」、「心地よいコンサートだった」などの感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	音楽のトビラⅦ Ⅷ
日時	鳥取公演:令和4年 10 月16日(日)午後2時開演 福島公演:令和4年 11 月4日(金)午後7時開演
会場	鳥取公演:まなびタウンとうはく 多目的ホール 福島公演:いわき芸術文化交流館アリオス 音楽小ホール
実施者(団体)	オカリナコンサート実行委員会
補助金額	172 千円

オカリナコンサート実行委員会は「音楽で福島と鳥取をつなぎたい」という思いのもと、東日本大震災の年に初めてコンサートを開催し、以後、様々なゲストと不定期でコンサートを開催している。

3年ぶりとなるコンサートでは、オカリナ奏者・ボーカルアーティストである馬目香保里氏(福島県在住)と、作曲家でありピアニストである渡邊芳恵氏(鳥取県在住)により、オカリナとピアノのアンサンブル、渡邊氏の朗読と音楽を融合させた音楽物語「スーホの白い馬」(新作初演)、2人の歌などが軽妙なトークを交えながら繰り広げられ、ジャンルにとらわれない様々な音楽が楽しめるコンサートとなった。

2会場で190人の来場があり、鑑賞者からは、「音と話、周りの空気も 2 人に染められ楽しかった」、「ぜひまた来てほしい」、「スーホの白い馬の音楽物語に引き込まれ、感動した」といった感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	書人生40年展 “麗心守破”
日時	令和4年11月23日(水・祝)～12月4日(日)
会場	丸京市民ギャラリー(米子市)
実施者(団体)	木村 仁愛氏
補助金額	144 千円

米子市在住の書家木村仁愛氏が、自身が書に本格的に取り組んで40年になるのを機に開催した個展で、書の作品26点が展示された。会場には、古典の要素をふまえつつ、時代性や時事を取り入れた作品などが並んだ。

すやまとしお氏の絵画の個展も同時開催され、会期中に約1,000人の来場があった。

鑑賞者からは、「書は字を見ることだと思っていたが、芸術的であまりの美しさに感動した」、「額装も含めて色々な見せ方があり、楽しめた」といった感想があり、書の堅苦しい概念が払拭されたという声も多数あった。





令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	コーラスと町民ミュージカルで織りなす「羽衣石天女ものがたり」
日時	令和4年 12月4日(日) 昼の部 午後1時開演 夜の部 午後5時開演
会場	ハワイアロハホール(湯梨浜町)
実施者(団体)	湯梨浜町民ミュージカル実行委員会
補助金額	300 千円

湯梨浜町民ミュージカル実行委員会は、合併後の湯梨浜町の活性化のため平成19年に立ち上げられて以降、公演を重ねており、ミュージカル劇中歌の作詞・作曲は、同町在住であった音楽家 故・佐々木道也氏が手掛けてきた。

第1部の「羽衣石天女ものがたり」では、湯梨浜町に伝わる天女伝説をモチーフにしたオリジナル作品である「羽衣石天女ものがたり」を、ミュージカルとコーラスの共演により再演した。コーラスには、鳥取市で活動する団体も参加し、活動の広がりとの交流が得られた。

また、第2部の「佐々木道也先生を偲んで」では、佐々木道也氏の教え子である湯梨浜町出身のサクソ奏者 藤田淳之介氏、ピアニスト 竹内大輔氏をゲストに迎え、コーラスも加わって佐々木氏の楽曲を演奏した。

2回公演で約500人の来場があり、鑑賞者からは、「音楽(歌)とともに物語が展開していくことが心地よく、楽しめた」、「楽曲にのせてのミュージカルの素晴らしさはもちろんのこと、湯梨浜の素晴らしさを再認識した」といった感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【優れた文化芸術活動支援事業】

事業名	青己はなね展
日時	令和4年 11月5日(土)～13日(日) 令和5年3月11日(土)～21日(火・祝)
会場	カラコロ工房 第一ギャラリー・ガーデンテラス(松江市)
実施者(団体)	青己 はなね氏
補助金額	300 千円

青色のボールペンで生物・植物の細密画を描く、米子市在住の画家、青己はなね氏の個展で、これまで鳥取県内での活動が多かった中、活動の範囲を県外にも広げて開催された。

会場には、青一色で表現された緻密なボールペン画が空間いっぱいに表示され、ボールペンやマーカーペンという生活に近い道具を用い、生物・植物を主なテーマに、その表情や毛並みなどを繊細かつエネルギーに表現した作品が並んだ。あわせて、期間中にはライブペイントも行われた。

11月と3月の2回にわたって開催され、約300人の来場があり、鑑賞者からは、「初めて目の前で見ました。すごいです」、「すごく見入ってしまい、もっと見たくなった」といった感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【文化芸術活動ステップアップ支援事業】

事業名	「春のハワイアン・ワークショップ」と「春のハワイアン・ライブコンサート」
日時	令和4年4月9日(土)・10日(日)
会場	倉吉未来中心リハーサル室、パレットとっとり市民交流ホール、 カフェ・ソース・バンケット(鳥取市)
実施者(団体)	ハーラウ・オ・カ・プウ・ヴァイルア
補助金額	88千円

東部と中部の2カ所でウクレレとフラダンスのワークショップを行うとともに、本場のハワイアンミュージックのライブコンサートを開催し、生演奏にあわせて、ワークショップ参加者がその成果を発表した。普段異なる団体に活動しているフラダンス愛好者が一緒にワークショップを受講し、希望者がステージで発表したことで、互いの交流を深めるとともに、活動者のレベルアップにつながった。

ワークショップは参加者から好評で、次回開催を希望する意見も多かった。ライブコンサートは、「まるでハワイでショーを見ているようで、感動し、癒された」との声が多かった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【文化芸術活動ステップアップ支援事業】

事業名	第3回「出逢い…」～未来へ羽ばたくコンサート～
日時	令和5年3月26日(日) 午後1時半開演
会場	倉吉未来中心 小ホール
実施者(団体)	第3回「出逢い…」～未来へ羽ばたくコンサート～実行委員会
補助金額	100千円

様々なコンクール等で活躍し、将来音楽の道に進むことを目指している鳥取県中部在住の小・中・高校生が出演し、ピアノなどの演奏を発表するコンサート。2回目までは小規模で開催していたが、今回は、広報範囲を全県及び隣県に拡大して開催し、県外から来場された方もあった。

出演者の技術向上のため、ホールでの試奏会や外講師による研修などを実施。出演者は、本番にむけて真摯に音楽に打ち込み、その姿を、演奏と共に聴衆に届けることができた。

当日は約230人の来場があり、鑑賞者からは、「子どもたちの熱演を聴き、大変な世の中で、明日も頑張ろうという活力をもらうことができた」、「毎年春になるとこのコンサートが聴けると、とても楽しみにして来た。ずっと続いてほしい」といった感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【とっとり文化の先人顕彰事業】

事業名	第15回全国公募書道展「放哉を書く」
日時	令和4年11月1日(火)～4日(金)
会場	とりぎん文化会館 展示室、ギャラリー集、宝林堂ギャラリー
実施者(団体)	放哉の会
補助金額	450千円

鳥取市出身の自由律俳人、尾崎放哉の句を題材にした書道作品を全国から募集し、一般の部、高校の部、色紙の部に195点の応募があり、入選作品など210点を展示した。

放哉大賞鳥取県知事賞には、一般の部は言水抱泉さん(岩美町)の「また風の障子がしゃべり出す」、高校の部は渡辺心音さん(鳥取東高)の「残雪に雪ふる」がそれぞれ選ばれた。

期間中、鳥取市内の3会場で作品を展示し、あわせて約1,800人の来場があった。また、15回を迎え、毎年楽しみに応募される県外作家もいるなど、県内外に書道展が認識され、定着しつつあることがうかがえた。

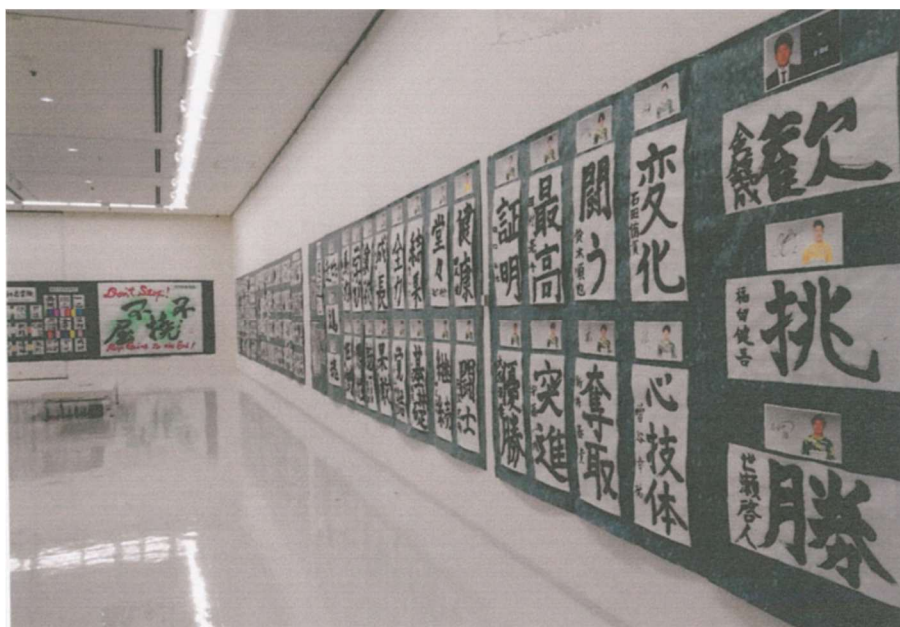


令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	ガッツガイナーレ応援書道展
日時	令和4年6月24日(金)～28日(火)
会場	米子市美術館 第4展示室
実施者(団体)	ガッツガイナーレ応援書道展実行委員会
補助金額	100千円

サッカーJ3 ガイナーレ鳥取を激励する言葉を書の作品にし、約 800 点(うち青少年の出品532点)の作品を展示した。小、中、高校生から一般の幅広い層から作品を募って一堂に展示するのは他に例がなく、深く関心が持たれるとともに、多くの児童、生徒が美術館に行くきっかけになった。

書道とスポーツのコラボレーションは珍しく、交流によりお互いにより刺激が生まれ、メディアにも取り上げられた。鑑賞者からは、スケールの大きい作品展に対する驚きの声が聞かれるとともに、書かれた激励の言葉や選手の作品の力強さに関心が集まった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	鳥取ジュニアオーケストラ 第26回定期演奏会
日時	令和4年8月27日(土)午後5時開演
会場	とりぎん文化会館 小ホール
実施者(団体)	鳥取ジュニアオーケストラ
補助金額	100千円

鳥取市近辺在住の小中学生で構成される鳥取ジュニアオーケストラの定期演奏会は、練習の成果を発表する舞台であり、地域の演奏者との交流にもなっている。

昨年度から初級者クラスを設けており、今回の演奏会では、楽器を始めて1年以内の演奏者の初々しい演奏が披露されるとともに、中・高校生のジュニアメンバーが大曲に取り組み、ジュニアオーケストラ卒業生やエキストラの演奏者の協力もあって、素晴らしい演奏を届けることができた。

鑑賞者からは、「将来有望、引き続き頑張ってもらいたい」、「弦楽器の生演奏の迫力がすごかった」、「来年もまた演奏を聴きたい」といった感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	夏休みミュージカル体験 演目 「ミュージカルドリームテスト～小さな役者さんたちのものがたり」
日時	令和4年8月28日(日)午後1時、午後5時開演
会場	北栄町大栄農村環境改善センター
実施者(団体)	特定非営利活動法人まちづくりネット
補助金額	100千円

県中部地域の小、中学生を対象に、地元を題材にしたオリジナルミュージカルの体験を行い、夏休みの活動の成果として発表した。出演者が小、中、高校生だけのミュージカルであり、出演が10回以上となる出演者もあり、公演当日は、集団で披露するダンス、歌など、熱演が繰り広げられた。客席からもたくさんの拍手と手拍子をいただいて舞台と客席が一体となって大いに盛り上がり、盛況の中で幕を閉じた。

鑑賞者からは、夏休みの限られた練習であったが、公演のレベルの高さに感嘆の声があった。





令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	子どものためのジャズワークショップ
日時	令和4年4月29日(金祝)ジャズ体験ワークショップ 5月～9月 ジャズワークショップ 9月25日(日)ジャズワークショップ成果発表
会場	とりぎん文化会館リハーサル室、小ホール他
実施者(団体)	鳥取JAZZ実行委員会
補助金額	100千円

ジャズ体験ワークショップでは、ジャズやサンバの生演奏を聴き、演奏に合わせて手拍子たり、ステップを踏んだり、一緒に歌うなど、体でジャズのリズムを体験した。また、実際に演奏に使われていたピアノ、ドラム、打楽器などの楽器に触れ、より深くジャズに興味を持った子どもたちのために、ピアノ学習者のための【ピアノコース】、ビッグバンドでのアンサンブルについて学習する【ビッグバンドコース】のジャズワークショップを実施した。

ワークショップの成果は、9月25日(日)にとりぎん文化会館小ホールで開催された「第12回鳥取JAZZ 2022 鳥取まちなかJAZZ」のステージで披露され、来場者の盛んな拍手を浴びていた。鑑賞者からは、「中学生とは思えない堂々たる演奏で驚いた」「子どもでもジャズが演奏できるんだと認識を新たにした」といった感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【次世代活動者育成支援事業】

事業名	鳥取市少年少女合唱団 第41回定期演奏会
日時	令和5年3月21日(火・祝) 午後2時開演
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール
実施者(団体)	鳥取市少年少女合唱団
補助金額	300千円

鳥取市近辺在住の小学生から高校生までの団員で構成される鳥取市少年少女合唱団の定期演奏会。

「Ⅰ みんなでたのしく」では誰もが一度は聞いたことのある親しみやすい歌を、「Ⅱ こころのうた」では岡野貞一作曲の唱歌などを、「Ⅲ ようこそ！わたしたちの演奏会へ」では、ヴァイオリン、オーボエ、マリンバのゲスト演奏者や OB との共演を披露した。また、「Ⅳ ミュージカル『オズの魔法使い』」では、指揮者がシナリオ作りや演出、団員が動きや振り付けを考えたミュージカルを発表した。

コロナ禍で合唱活動や子どもたちの学校生活においては我慢や緊張を強いられることも多かったが、ミュージカルで力いっぱい演技し、ダンスや合唱で自分の思いを表現することは、改めて仲間との絆や関わり合う楽しさを感じられる経験となった。

当日は約500名の来場があり、鑑賞者からは、「合唱団の皆さんの歌声、振付にとっても感動した」、「ハーモニーがとても美しく、よく練習しているのが分かる」といった感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【周年支援事業】

事業名	第10回記念 とっとり夢街コンサート2022 ～旅Ⅱ～
日時	令和4年 11月 20日(日)午後 1時半開演
会場	鳥取市民会館
実施者(団体)	とっとり夢街コンサート実行委員会
補助金額	100千円

「とっとり夢街コンサート」はリラクシング系コンサートの地元版として2009年に誕生し、「仁風閣野外コンサート」を皮切りに「とっとり出合いの森」「湖山池青島」などの魅力再発見と文化発信に一役を担うことを行ってきた。

第10回を記念する本コンサートでは、バンド「シャローム」を軸に、ソプラノ歌手寺内智子氏、松江市在住の辺見康孝氏(ヴァイオリン)と松村多嘉代氏(ハープ)によるデュオユニット X[iksa](イクサ)、朗読の西岡恵子氏のコラボレーションによるハイレベルなステージが展開された。

当日は、約420人の来場があり、鑑賞者からは、「どれも力が入った素晴らしい演奏だった」、「音楽と映像のコラボレーション、大迫力でとてもすてきでした」、「一人一人の演奏に引き込まれ、あっという間の時間でした」といった感想があった。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【刊行物発刊支援事業】

書名	山の白兔伝説の謎に迫る
発行年月日	令和4年10月14日
著者名	新 誠氏
実施者(団体)	新 誠氏
補助金額	300千円

八頭町には、白兔伝説と白兔神社があり、神社の伝承によれば、平安時代にまで遡ることができる。著者は、この伝説を、古事記の白兔神話との混乱を避けるため「山の白兔伝説」として、2004年から地域にある史跡や社寺、地名、古墳群、伝承等の調査、研究を続けており、本書では、20年近くにわたる研究の成果として、「山の白兔伝説」と兔の信仰がいかにして形成されてきたかを明らかにすることを試みた。



令和4年度 鳥取県文化芸術活動支援事業補助金 助成事業  
【刊行物発刊支援事業】

書名	前進 -[決定版] 碧川かたの生涯-
発行年月日	令和5年3月3日
著者名	碧川かた研究会
実施者(団体)	碧川かた研究会
補助金額	300千円

碧川かたは、明治2年に鳥取市に旧鳥取藩家老和田邦之助の娘として生まれ、「赤とんぼ」を作詞した兵庫県龍野市生まれの詩人、三木露風の母であり、大正から昭和にかけて、禁酒運動・婦人参政権運動で活躍した女性である。

碧川かた研究会では、県内各地の所縁の地を訪ね、過去の新聞・雑誌など一次資料に当たって、正確な史実を明らかにすることに取り組んできており、本書は、その成果を取りまとめたものである。

本文では碧川かたの生涯を順を追って記述するとともに、碧川かたに関する参考文献を挙げ、巻末には碧川かたの年表を掲載した。

